



九州環境エネルギー産業推進機構

K-RIP情報

KYUSHU RENEWABLE ENERGY AND ENVIRONMENTAL
INDUSTRY PROMOTION ASSOCIATION

NO ECOLOGY. NO BUSINESS

vol.1 #2016

(一財)九州産業技術センター

九州環境エネルギー産業推進機構(K-RIP)
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13-24
TEL 092-474-0042 FAX 092-472-6609
URL <http://www.k-rip.gr.jp>



「平成 28 年度 K-RIP 総会」開催

K-RIP と SONEQ の統合案が承認され、新会長に吉田 哲雄氏が就任。

《Contents》	《Page》
I. 平成 28 年度 K-RIP 総会	2～5
II. 環境ビジネスの創出と人脈形成の場「エコ塾」の実施報告	6～12
III. 技術シーズ発信・ビジネスマッチング交流会事業	13～14
IV. 平成 28 年度 K-RIP プロジェクトについて	15
V. 九州・沖縄フラインバブル活用研究会	16
VI. ASEAN 等環境産業交流事業	17～20
* 平成 28 年度上期 SONEQ 事業報告	21
トピックス 環境・グローバル人材育成講座の開催について	22
お知らせ 平成 28 年度 K-RIP 事業計画（下期）	23

I. 平成28年度 K-RIP 総会

平成28年6月21日、ハイアットリージェンシー福岡において、企業・大学・自治体等96会員の出席と、129会員の委任状をもって、九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ（K-RIP）の平成28年度総会を開催いたしました。

鶴田会長の開会挨拶の後、坂井秀之 協和機電工業㈱代表取締役社長を議長に選出し、平成28年度事業計画（案）など7議案を審議し、九州ソーラー&クリーンエネルギーネットワーク（SONEQ）との統合案も含め、すべて異議なく承認されました。

今回の役員改選においては、鶴田会長の後任で、K-RIP と SONEQ 統合後の新生 K-RIP の会長として吉田哲雄（株）ワイビーエム代表取締役会長が就任されました。

また、基調講演では、オートモーティブエナジーサプライ株式会社事業推進部長の野田俊治氏をお招きして、『低炭素化社会の実現に向けて～（リチウムイオン2次電池の技術動向とその活用事例）』という演題でご講演いただき、大変興味深いお話を伺うことができました。

- （総会議案）
- 第1号議案 平成27年度事業報告について
 - 第2号議案 平成27年度収支決算報告について
 - 第3号議案 新体制への移行（案）について
 - 第4号議案 規約の制定（案）について
 - 第5号議案 役員の改正（案）について
 - 第6号議案 平成28年度事業計画（案）について
 - 第7号議案 平成28年度収支予算（案）について

九州環境エネルギー産業推進機構(略称:K-RIP)

Kyushu Renewable energy and environmental Industry Promotion association

（目的）

九州環境エネルギー産業推進機構は、環境・リサイクル産業、再生可能エネルギー関連産業（以下「環境エネルギー産業」という。）に携わる産学官の関係者の横断的組織として活動するものであり、九州地域に蓄積されてきた環境エネルギー産業関連技術やノウハウを活かし、新事業等の創出を行うことで、九州地域を世界に通用する競争力を有した環境エネルギー産業の先導的地域とすること。

○九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)

（会員数329）

○九州ソーラー & クリーンエネルギーネットワーク(SONEQ)

（会員数115）

統合

新生K-RIP誕生
（平成28年6月21日）

会長	吉田 哲雄（株）ワイビーエム 代表取締役会長		
副会長（6）	九州電力(株)、協和機電工業(株)、西部ガス(株)、(株)安川電機、太陽光発電技術研究組合、(国法)産業技術総合研究所		
理事（31）	(株)麻生、(株)エコファクトリー、環境テクノス(株)、九電産業(株)、清本鐵工(株)、(株)黒田工業、(株)サニックス、山九(株)、新日鐵住金(株)、太平洋セメント(株)、電源開発（株）、TOTO(株)、西日本技術開発(株)、(株)PAL構造、ソーラーフロンティア(株)、(株)NTTファシリティーズ、芝浦グループホールディングス(株)、西部重工業(株)、九電みらいエナジー(株)、(株)新出光、(一社)日本鉄リサイクル工業会、(一財)九州産業技術センター、中小企業基盤整備機構、長崎県、熊本県、宮崎県、北九州市、大牟田市、水俣市、九州工業大学、大分大学		
監事（3）	(株)西日本シティ銀行、(一財)九州地域産業活性化センター、(一社)九州経済連合会		
部会	情報・交流部会	部会長：九州電力(株)	副部会長：九電みらいエナジー(株)
	ビジネス創出部会	部会長：楽しい(株)	副部会長：九州ニュービジネス協議会
	国際ビジネス部会	部会長：協和機電工業(株)	副部会長：(株)ワイビーエム

※下線は旧SONEQ会員

■会長の挨拶 鶴田 暁 氏【環境テクノス（株） 代表取締役会長】

K-RIP は、平成 11 年に設立され、九州地域における公害の克服経験や高度な環境技術保有企業の集積といった地域の高いポテンシャルを活かし、産学官連携によるネットワーク形成や新事業創出、海外展開支援などに取組んできました。

国内のビジネスマッチングをきっかけに、会員企業の新規契約成立や実証実験の開始などの多くの成果が生まれており、海外展開支援においては、ASEAN 地域を中心に現地ニーズの把握や、現地企業とのビジネスマッチングなどを通して、会員企業が海外企業と MOU を締結するなど、顕著な成果を生み出しているところでございます。

これらの取組みが高く評価され、昨年 11 月に「2015 年環黄海経済・技術交流大賞」、本年 3 月に「イノベーションネットアワード 2016」で最高位の経済産業大臣表彰を受賞することができました。これもひとえに会員の皆様方の積極的な事業活動の賜物であると、心から感謝申し上げます。



現在我が国は、少子高齢化による人口減少や新興国の台頭など内外の環境は著しく変化しており、最近の企業の動きは、提携、M&A、合併、縮小・統合などの手法で経営革新を進めております。これからは、自前主義から脱皮して、オープンイノベーション、イノベーションネットワークを推進し、今まで以上に機能の差別化や競争力のあるビジネスモデルの構築、新事業創出による市場の開拓が重要と思われます。

そこで、本年度 K-RIP では、九州地域の環境分野が有する多様な強みや特徴、これまで蓄積されてきたノウハウを活かし、①「低炭素社会への対応に向けたエネルギー産業との融合」、②「TPP を契機としたビジネスチャンス獲得」、③「地域を牽引する中核企業（候補）の創出」を大きな 3 つの柱として、環境・エネルギー産業の裾野拡大、地域雇用機会の拡大に貢献し、地域活性化に繋がる取り組みを行って参ります。

特に、「低炭素社会への対応」については、地球温暖化対策（環境配慮型）関連分野の会員企業からの支援ニーズ等も踏まえ、クリーンエネルギー分野を中心に活動している SONEQ 会員との融合を進めることで、低炭素社会の実現といった社会的要請に応え、会員企業のネットワークの強化・拡大、新しいビジネス機会を創出していきたいと考えております。K-RIP の活動やネットワークの更なる強化、九州の環境ビジネスの益々の発展のために、引き続き、皆様方のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

<鶴田会長退任のご挨拶：要旨>

麻生前会長から引き継いで 5 年間、大役の K-RIP 会長を務めさせていただきました。皆様のご支援ご協力により、K-RIP の活躍は国内のみならず海外でも広く、高く評価されています。これも九州経済産業局の全面的協力の賜です。私の在任中は滝本元局長、広実前局長、岸本現局長から、積極的にご支援頂いたことに深く感謝しております。

麻生会長が、K-RIP には髭がついていると言われていました、まさに、K-RIP の今日があるのも九州経済産業局の皆様のご支援あつてのことです。

新会長の YBM の吉田さんとは佐賀一北九州間の異業種交流会での出会いから始まり 30 年来の友人です。私の在任中は副会長を務め、部会長会議や戦略会議の座長として K-RIP をリードしてこられ、会員皆様のご期待に応えられる方です。引き続き、皆様のご支援ご協力をお願い致しまして、私の退任の挨拶とさせていただきます。

■新会長の挨拶 吉田 哲雄 氏【(株)ワイビーエム 代表取締役会長】

この度、鶴田会長の任を引き継ぎ、「九州環境エネルギー産業推進機構（K-RIP）」の会長に就任することになりました吉田です。皆様、あらためましてどうぞ宜しくお願いします。

K-RIP は、今から約 16 年前の 1999 年 11 月に誕生し、以来 環境・リサイクル産業の人的ネットワークの形成などに取り組んできました。その間、環境・リサイクル産業を取り巻く環境は大きく変わり、社会の目指す方向は資源循環型社会から低炭素社会、地球温暖化防止にシフトしています。

こうした中、鶴田前会長のもと約 5 年間にわたり、その時代時代の社会的要請に応え、会員企業の皆様と共に様々なチャレンジをしてきました。近年では「販路拡大・事業化支援」「環境・リサイクル産業のアジア展開」「地域中核企業の創出・支援」「エネルギー分野や一次産業との連携」に取り組み、環境ビジネスの振興と地域経済の活性化に大きく貢献してきました。

また、「エコ塾」は、異業種との連携・マッチングを目的に、ほぼ毎月のように開催しておりますが、今年 9 月には記念すべき 100 回目を迎える予定と聞いております。

このたび、エネルギー関連企業の振興を支援してきた SONEQ と統合し、「新生 K-RIP」として発足することについて、K-RIP 及び SONEQ それぞれの総会において正式承認され、会員数も 400 を超えると聞いております。

従来の環境・リサイクル分野だけでなく、エネルギー分野との融合を図ることで、より効果的な支援を行うことが可能となる体制になり、今後も、変わりゆく時代の要請に応えながら、人的ネットワークの更なる拡大・深化、グリーン・イノベーションの創出、低炭素社会への対応に向けた環境・エネルギーをパッケージ化したビジネスの創出を行い、ますます発展していけると思われます。

そのためには、K-RIP は、常に変化する社会的な要請、会員企業の皆様のニーズを的確に捉え、それにこたえていくための柔軟なネットワーク組織の創造、新たなソリューションを提供するための仕組み作り、市場創造等に取り組み、環境・エネルギー産業の競争力強化を図ることが不可欠であると考えます。

特に、市場が急拡大している東南アジア地域の環境・エネルギー市場へのソリューション提供については、海外ミッション等を通じて、会員企業の皆様が様々な成果を出されており、これからも期待されるところです。

このように、会員企業の皆様のチャレンジに対し、ネットワーク組織として支援出来るよう、私ども K-RIP は、九州経済産業局や自治体、大学、地域の産業振興関係機関などと連携を密にしながら、必要な取り組みを行って参ります。

鶴田会長におかれましては、約 5 年間に渡り会長として K-RIP を率いいただき、大変ありがとうございました。これからも引き続き、K-RIP へのご指導を賜りたいと考えております。どうぞ宜しくお願いします。

最後になりましたが、K-RIP の活動に対する皆様方の日頃のご協力に感謝申し上げますとともに、今後も K-RIP の発展へのご支援をお願い申し上げて、私の挨拶とさせていただきます



■ 記念講演

～低炭素化社会の実現に向けて～

『リチウムイオン2次電池の技術動向とその活用事例』

オートモーティブエナジーサプライ株式会社
事業推進本部長 野田 俊治 氏

(略歴)

1988 年 東京大学 工学部卒業

1988 年 N E C株式会社に入社

2008 年 オートモーティブエナジーサプライ（株）に出向

2013 年 現職 事業推進本部 本部長



記念講演： 野田 俊治 氏



記念講演会 風景

<概要>

オートモーティブエナジーサプライ株式会社（以下A E S C）は、日産自動車とN E Cグループが出資する合弁会社で、電気自動車「日産リーフ」に搭載される電池の開発、生産を行っている会社です。

「日産リーフ」はこれまでグローバルで20万台を超える台数が出荷され、電池不具合による重大事故は一切発生しておらず、A E S C製電池の高信頼性と高品質を実証してきました。私たちはこれまで培ってきた電池技術を応用し、車両向け電池から定置向けの蓄電池まで、また電池サイズも数kWh～数百kWhまで幅広く製品展開し世界の低炭素化社会に貢献していきたいと考えています。

また、蓄電池技術は、このたび発生した熊本大震災のような災害発生時にも緊急用電源の確保として大変有効であると考えています。

今回の記念講演では、私たちA E S Cの電池開発、生産の取り組みと、この技術を低炭素化社会に向けてどのように活かしていくか、また災害発生時の緊急用電源としてどのように活用するかについて講演していただきました。

Ⅱ． 環境ビジネスの創出と人脈形成の場 「エコ塾」 ＊年 10 回程度開催(毎月第 2 木曜日)＊

K - R I Pでは九州経済産業局と連携して、環境・リサイクル・再生エネルギー分野の人的交流、企業間交流の活性化を目的とする「エコ塾」を毎月 1 回開催しております。平成19年度に第1回エコ塾をスタートし、このたび第100回という記念すべき節目を迎えることが出来ました。

「エコ塾」は、環境関連ビジネスに取り組む企業や、環境ビジネスを支援する団体等のプレゼンテーション（毎回 3 社程度の講演）と、講演終了後に催します参加自由な交流会（立食形式）の 2 部形式となっております。

昨年度から新たな取り組みとして、交流会内で企業や支援機関からの告知や各種 P R を行うことができるショート・スピーチ（1 分間）の時間を設けています。気軽に企業 P R が出来ることもあり、参加者との積極的な交流を図っていただいています。今回は第96回～第100回までの概要を報告します。

1. 第 96 回エコ塾 K-RIP 支援メニュー 活用事例紹介と成果報告

【開催日時】平成 28 年 3 月 17 日（木）15：30～

【参加人数】講演会 83 名／交流会 54 人

【プレゼンテーション】

〔テーマ〕「ファインバブルを活用した一次産業とのマッチング事業」

〔発表者〕(株)ワイビーエム 技術開発部 主事 吉原 謙司 氏

〔概 要〕活用メニュー：環境イノベーションフォーラム 他

〔テーマ〕「ハウステンボスのブランド力を活かした販路開拓事業」

〔発表者〕ハウステンボス技術センター(株) 取締役 鶴田 修一 氏

〔概 要〕活用メニュー：展示会出展支援 他

〔テーマ〕「新規入会からの支援メニュー活用について」

〔発表者〕(株)ジェー・フィルズ 佐賀営業所 所長 青木 正成 氏

〔概 要〕活用メニュー：ニーズ・シーズ研究会、エコ塾 他

〔テーマ〕「ASEAN 環境プロジェクト ～ K-RIP を最大限に活用しよう！～」

〔発表者〕(株)環境緑化保全コンサルタント 常務取締役 営業本部長 榎木 真一 氏

〔概 要〕活用メニュー：海外展開支援・K-RIP プロジェクト 他



株式会社ワイビーエム 吉原 氏



ハウステンボス技術センター(株) 鶴田 氏



(株)ジェー・フィルズ 青木氏



(株)環境緑化保全コンサルタント 榎木氏



交流会風景

【ショート・スピーチ】

〔発表者〕 篠田株式会社 環境事業部 福岡事務所 國村 祐佳子 氏

〔発表者〕 JUE Patent Leaders 代表 山内 和博 氏

〔発表者〕 L&L CONSULTANT 代表 リム・ウィー・イー 氏

〔発表者〕 株式会社 Raycean 代表取締役 安倍 浩一朗 氏

〔発表者〕 トリゼンフーズ株式会社 農業・環境事業部 岸原 佑樹 氏

〔発表者〕 日港事務顧問 張 凱翔 氏

2. 第97回エコ塾 「一次産業に広がる環境技術」

【開催日時】 平成28年5月12日（木）17:00～

【参加人数】 講演会93名／交流会61名

【プレゼンテーション】

〔テーマ〕 「循環型社会を目指して ～バイオの力で環境改善～」

〔発表者〕 トリゼンフーズ株式会社 農業・環境事業部 課長 河津知明 氏

〔概要〕・自社養鶏場から排出される鶏糞は年間約2500t。今までは産業廃棄物として処理していたが、有用なものにできないかと考えた末に着目したのが微生物の力である。

研究を重ね、独自開発したものが微生物資材（バイオエクス）【華燦々】。生菌5種（乳酸菌・酵母菌・光合成細菌・放線菌・発酵菌）と有効成分（抗酸化成分・ビタミン類・ミネラル類・アミノ酸類）を掛け合わせ培養したもの。

これを鶏糞に散布し、切返し・熟成の工程を経て完熟堆肥が出来上がる。これが自社堆肥【華煌ら】。また、現在は華煌らをさらにグレードアップした普通肥料（780円/5kg）の生産も行い、販売展開を行っている。華燦々は畜糞の消臭・発酵促進、堆肥化、及び畜舎内の消臭が畜種を問わず可能である。

〔テーマ〕 「～省エネ・低コストを実現～ CO2麻酔による活魚の長距離輸送技」

〔発表者〕 マリンバイオテクノロジー(株) 長崎県立大学大学院 人間健康科学研究科
栄養科学専攻 機能形態学研究室 教授 久木野憲司 氏

〔概要〕・魚に炭酸（CO2）麻酔をかけることで冷却装置を用いずに長時間眠らせたまま活魚を輸送し、省エネ・低コスト化を実現する特許技術（特許第5897133号：魚介類の麻酔方法および装置）を紹介する。現在は魚種ごとの麻酔処方の検討、そして、各魚種に最適な麻酔環境を簡便に設定できる活魚コンテナシステムの開発が進んでいる。近い将来、この技術を使って、日本の活魚を航空輸送および船舶輸送によって全世界の需要地に届けるべく、マリンバイオテクノロジー（株）が活魚コンテナの実用化に取り組んでいる。

〔テーマ〕「樹木粉碎機から生み出されるチップの利活用方法と実践例」

〔発表者〕株式会社大橋 企画室 大橋由明 氏

〔概要〕 主力商品の樹木粉碎機は、木や竹を細かなチップに粉碎する機械。粉碎物は木・枝・竹・草・稲わら等、多岐にわたりますが、単に機械の販売をするだけでなく、粉碎したあとの木質チップ利活用をお客様に提案することにも注力しています。現在新たな活用法として、木質チップを燃料としたバイオマスの開発を行っています。また、自社農園で進めているトライアルについても説明する。



トリゼンフーズ(株) 河津 氏



長崎県立大学大学院 久木野 氏



株式会社大橋 大橋 氏



エコ塾での講演会風景

【ショート・スピーチ】

〔発表者〕ACC 硝子建材株式会社 営業 中山 雄介 氏

〔発表者〕共同組合 福岡情報ビジネス 国際事業部 業務推進・管理課長 武藤 洋平 氏

〔発表者〕(株)福岡生物産業開発研究所 田中 研実 氏

〔発表者〕(株)モットラート 代表取締役 柴田 剛 氏

3. 第98回エコ塾 「環境×流通 in ビジネスショー&エコフェア2016～」

【開催日時】平成28年6月16日(木) 15:00～

【参加人数】講演会・名刺交換会 53名／交流会 なし

【プレゼンテーション】

〔テーマ〕「新たなコールドチェーン構築に向けた商品」

鮮度保持機能付き 20 フィートリーファーコンテナ「fresh bank」の開発について

〔発表者〕日通商事(株) 営業企画部 課長 石井誠 氏

〔概要〕従来の流通は、生鮮品の高鮮度を維持するために、いかに時間短縮して運ぶかに凌ぎを削ってきた。そこで当社では、「生鮮品をゆっくり遠くへ ～Slow Logistics～」のコンセプトに基づき、高鮮度保持機能付き 20 feet リーファーコンテナ「fresh bank」を開発。「fresh bank」は、輸送だけでなく、移動式保管庫として青果物の収穫調整等を行うことができる商品と位置付けられる。

〔テーマ〕「Eco-SAM（エコサム）の活用による安全運転とエコドライブの実践」

〔発表者〕（株）トワード 営業本部 本社営業課 浦野敬史 氏

〔概要〕 自社の運転ノウハウをシステム化し開発したエコサムで事故防止と燃費向上を実現。たいへん好評で、販売を始めて 5 年で全国 700 社 18,000 台の実績があり、効果を実感いただいている。今回、エコサムとは何か、また何故、事故防止と燃費向上に役立つのかについて説明する。



日通商事株式会社 石井 氏



株式会社トワード 浦野 氏



エコフェア会場での講演会

4. 第 99 回エコ塾 「環境×医療」

【開催日時】平成 28 年 7 月 14 日（木）16：50～

【参加人数】講演会 61 名／交流会 36 名

【プレゼンテーション】

〔テーマ〕「医療廃棄物の処理と再資源化について」

〔発表者〕麻生鈺山株式会社 代表取締役社長 谷村 典孝 氏

〔概要〕「エコノベイト響」（麻生鈺山株式会社 北九州事業所）は、平成 14 年 12 月より北九州市若松区響灘地区、北九州エコタウンにおいて、医療機関等から排出される医療廃棄物の処理を行っている。

「エコノベイト響」では、ステリサイクル社（Stericycle, Inc./米国イリノイ州）の特許技術 E.T.D（Electro-Thermal Deactivation）を導入し、焼却を伴わない破碎・滅菌処理を実施。滅菌処理後の廃棄物は固形燃料やセメント等の原料として有効利用され、環境負荷の低減を推進している。

〔テーマ〕「感染対策の紫外線殺菌装置の開発と今後の展開について。」

〔発表者〕エネフォレスト株式会社 専務取締役 木原 寿彦 氏

〔概要〕一般的に空気を綺麗にしたいというニーズがあるが、ほこりや花粉を除去したいのか、細菌やウイルスを対策したいのかといった定義づけが明確ではない。後者に対して対策できるのが、当社が開発した空気感染対策の殺菌装置。特に空気感染に対しては、N95 マスクの着用や、陰圧室に収容といった方で、一般的な対策は難しかったが、この製品は安全かつ簡単に設置できる機構を備えておりニーズが広がっている。更に CDC ガイドラインに準拠しているので、学術的根拠があるのも強みとなっている。

〔テーマ〕「ファインバブルを活用した医療機器」

〔発表者〕（株）田名部製作所 代表取締役 田名部 淳 氏

〔概要〕 田名部製作所は、精密金属加工技術を研鑽し続ける技術者集団。この度の発表では、

九州大学との産学連携によるファインバブルを活用した医療機器の試作開発の経緯と今後の予定および医療機器製品の特長などについて説明する。ファインバブルとは非常に微細な気泡で、気泡内にオゾンや酸素等の気体を封入することで様々な効果を発揮する、近年注目の技術です。昨年のNHK番組「サイエンス ZERO」にて紹介された糖尿病患者向けの洗浄機の開発を行っている。



麻生鉱山(株) 谷村 氏



エネフォレスト(株) 木原 氏



(株)田名部製作所 田名部 氏

【ショート・スピーチ】

〔発表者〕加藤特許事務所 白垣 耕一郎 氏

〔発表者〕福岡大学 桐島 氏

5. 第100回エコ塾 ～ これからの環境ビジネス ～

平成19年6月より情報交流ネットワーク構築の要としてスタートしたK-RIPエコ塾が、100回目を迎え、ハイアット・リージェンシーで第100回記念エコ塾を開催しました。

【開催日時】平成28年9月9日（金）講演会 14:00～18:00, 交流会 18:10～19:30

【開催場所】ハイアット・リージェンシー・福岡

【参加人数】講演会 155名／ 交流会 65名



九州経済産業局・阿由葉部長



K-RIP 情報交流部会・梶田部会長



基調講演：庵原一水 氏

【基調講演】

〔テーマ〕「環境ビジネスの最新動向と今後の方向性」

〔発表者〕デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 パブリックセクター
シニアマネジャー 庵原一水 氏

〔概要〕市場動向や環境ビジネスの先進的な事例に加え、政策・規制や金融・資金調達に関する国内外の最新動向を踏まえて、中長期的な視点から、環境ビジネスの今後の方向性について提示する。

【プレゼンテーション】

〔テーマ〕「ナノセルロース（セルロースナノファイバー）利用のすすめ
～ 竹を原料としたナノセルロースの可能性 ～」

〔発表者〕中越パルプ工業株式会社 開発本部 技師 坪井国雄 氏

〔概要〕来年度には商業用プラントによる製品供給を予定している『竹を原料としたナノセルロース』への取組を通して、ナノセルロースとは何なのか？何に使えるのか？といった基礎的な説明を中心に解説する。

〔テーマ〕「業界初！太陽光パネルの障害を素早く発見し場所を推定する
〔SOKODES（ソコデス）〕の開発」

〔発表者〕株式会社システム・ジェイディー 取締役会長 伊達博 氏

〔概要〕「新エネルギーベンチャー技術革新事業／太陽電池アレイ故障診断技術の開発」を通じて、どのような開発プロセスを経て製品化に結び付けたかに焦点を当てる。現在の製品とビジネスプラン及び将来ビジョンについて説明する。

〔テーマ〕「環境ビジネスにおける中小企業の海外展開事例～失敗と、成功に向けた取組み～」

〔発表者〕協和機電工業（株）海外事業部 海外統括部 グループ長 小林将也 氏

〔概要〕 約 10 年前から取り組む協和機電グループの海外展開の事例をご紹介します。

中小企業が単独で海外展開を行う中で直面する難しさと、課題を乗り越えるために活用した各種サポートなどについても紹介する。



中越パルプ工業（株）坪井氏



（株）システム・ジェイディー
伊達氏



協和機電工業（株）小林氏

〔テーマ〕「日本初の自治体による電力売買事業会社の取組について」

〔発表者〕みやま市 環境経済部 エネルギー政策課 係長 渡邊満昭 氏

〔概要〕電力売買事業会社『みやまスマートエネルギー株式会社』は地産地消の再生可能エネルギーインフラを整え環境を保全しながら地域コミュニティを活性化させる総合的な取り組みを推進。

〔テーマ〕「バイオマス産業都市さが ～藻類関連産業の集積を目指して～」

〔発表者〕佐賀市 環境部 バイオマス産業都市推進課 参事 井口浩樹 氏

〔概要〕藻類バイオマスを活用し新たな産業の育成により新技術分野やその関連産業の企業誘致を進め、雇用の創出を図るとともに観光や教育の振興にもつなげる地方創生策を紹介。

〔テーマ〕「鹿児島市受託事業における環境ビジネス支援について」

〔発表者〕鹿児島相互信用金庫 お客さまサポートセンター

執行役員 お客さまサポートセンター長 米森勝志氏

〔概 要〕 鹿児島市新産業創出支援事業の新事業展開部会は「食」「健康」「環境」連携による新たなビジネスモデル構築を目指すものであり、これらの取組み状況等について紹介する。



みやま市 環境経済部 渡辺氏



佐賀市 環境部 井口氏



鹿児島相互信用金庫 米森氏

【ショート・スピーチ】

〔発表者〕 (株)かんでん CS フォーラム マネジャー 岡田 儀和 氏

〔発表者〕 株式会社 勇境 取締役 山田 耕平 氏

〔発表者〕 九州工業大学 産学連携部門長 本田 剛士 氏



【100 回記念エコ塾 講演会】



【100 回記念エコ塾 交流会】

Ⅲ. 技術シーズの発信・環境ビジネス マッチング交流会事業

1. 技術シーズ発信・展示会出展支援のお知らせ

環境関連の地域中核企業創出を支援するため、自治体、支援機関等と連携し、九州内外の大型環境見本市等の機会を活用した技術シーズの発信・個別商談会を開催し、ビジネスパートナーや新規ユーザーの発掘を目的にマッチング事業を実施しております。

平成 28 年度は、エコテクノ 2016 北九州市)、びわ湖環境ビジネスメッセ 2016 (滋賀県長浜市)、アグロ・イノベーション東京 2016(ビッグサイト)に出展し、出展支援・プレゼン・商談会を実施します。本年度の出展会員企業は下記の通りです。

(1) エコテクノ 2016 (北九州)

期間：2016 年 10 月 12 日 (水) ～14 日 (金)

場所：西日本総合展示場 新館 (北九州市小倉北区浅野 3 丁目 8 - 1)

① 出展支援

企業名	出展内容	備考
(株)ウィン&ウィン	LED 照明の自主開発サポート	長崎県
(株)西部技研	高濃度かつ安全な CO2 分離回収技術	福岡県
東京産業(株)西日本支店	低コストで薬剤不使用の遠心分離式浄水装置	東京都
丸和バイオケミカル(株)	“美ら芝”での緑化事業 (国産の新品種の芝)	東京都
(株)多摩川九州	太陽光+風力のハイブリット LED 発電	福岡県
(株)高和	廃棄等おがくずを利用した木質系猫砂ペレット	福岡県

② 環境ビジネスアライアンス・マッチングセミナー in 九州 (10 月 13 日午後)

九州域内企業と環境分野でアライアンスマッチングを希望する全国各地の企業が、自社事業 (商品・技術・システム等) のプレゼンテーションを行い、隣接する会場にて小規模展示と商談会を実施します。

13:10 ～ 13:25	東洋スクリーン工業(株) (奈良)	近畿	ウェッジワイヤースクリーン(目開き 5 μ m レベル)とその応用機器(排水処理用固液分離スクリーンなど)の製造販売	用途開発:微細物の分離等装置・システム共同開発
13:25 ～ 13:40	(株)マーベルコーポレーション (福井)	近畿	重金属・フッ素化合物を含まず、塩素系化合物の含有率の低い、環境配慮型の保存処理木製品の製造・販売	製造:加圧注入装置を有する森林組合・木材産業 代理店:建材商社・工務店・木材業者
13:45 ～ 14:00	サイエンス(株) (埼玉)	関東	「排熱回収型ヒートポンプシステム」未利用排熱をヒートポンプ技術で熱回収する省エネシステムとトータル制御、「弱酸電解水活用型の浴槽ろ過装置」	代理店:販売+技術対応、メンテナンス

14:00 ～ 14:15	(株)みつわポンプ製作所 (三重)	中部	工業用ニッチ分野の環境関連用スラリーポンプ(シールセル、ラバーセル、スルーセル、クローバーポンプ)の製造・販売	代理店:販売+設置、メンテナンス
14:20 ～ 14:35	豊田化学工業 (株) (愛知)	中部	自動車業界を中心に混合廃溶剤リサイクルシステムを展開。塗料廃液の回収、再資源化・廃棄物の減容化を行う	代理店:有機溶剤回収・販売事業者
14:35 ～ 14:50	(株)スマートエナジー 沖縄 「沖縄スマートアイランドプロジェクト (OSIP)」 (沖縄)	沖縄	再生可能エネルギー・熱源・空調・電気・照明・ポンプ・建築設備等の更新、運転管理・メンテ等。一般住宅・工場・ビル、自治体等への販売代行・エネルギー使用合理化のオーダーメイドサービス。	共同研究・開発型:東南アジア市場向け省エネ・新エネ技術・設備等の沖縄での研究開発・実証。機能分業型:沖縄での販売代行。
14:55 ～ 15:10	(株)リライフ (山口)	中国	産業廃棄物収集運搬・処分業、リサイクル事業者。特に高塩素含有汚泥、高塩素含有燃え殻といった廃棄物をリサイクルする技術を保有している。	代理店:産廃排出事業者へのPR 共同研究:脱塩、脱臭、改良材、不溶化剤
15:10 ～ 15:25	(株)ジオパワーシステム (山口)	中国	地中熱などの自然エネルギーを利用した省エネ技術「GEOパワーシステム®」の研究・開発・製造・販売	代理店:販売+施工、メンテナンス
15:30 ～ 15:45	周南水処理(株) (山口)	中国	水処理薬品や機器の販売及び関連技術サービスを提供。配管抵抗低減剤「LSP-01(添加剤)」の全国展開。	代理店:販売+メンテナンス

(2) びわ湖環境ビジネスメッセ 2016

期間:2016年10月19日(水)～10月21日(金)

場所:滋賀県立長浜ドーム(滋賀県長浜市田村町1320)

① 出展支援

企業名	出展内容	備考
ワイズグローバルビジョン(株)	世界最小型海水淡水化装置(携帯型飲料水製造装置)	沖縄県
日建エンジニアリング(株)	省エネ・省スペース長寿命の3次元シームレスパイプ曲げ加工技術	福岡県
(株)新菱	太陽光発電PVパネルのリサイクル事業システム	福岡県

(3) アグロ・イノベーション東京 2016

期間:2016年12月14日(水)～12月16日(金)

場所:東京ビッグサイト

① 出展支援

企業名	出展内容	備考
(株)三基	園芸の間伐材チップを燃料としたバイオマスヒーター	長崎県
(株)ヤサキ	有機物分解力に優れ浄化力ある畜産用「菌の黒汁」	広島県
グリーンバーホルディング(株)	エネルギー自家消費型(削減)の循環栽培システム	福岡県

Ⅳ. 平成28年度 K-R I Pプロジェクト

K-R I Pプロジェクトは、K-R I P会員の環境・リサイクル関連分野における産業の振興や新事業の創出を目的とし、①可能性調査事業、②製品開発事業、③既存製品改良事業、④その他事業における調査および研究に係る助成を行うもので、平成28年度は5件のプロジェクトが採択されました。

採択企業は、平成28年7月1日から平成29年2月末まで申請内容に基づきプロジェクトを実施していきます。

	企業名	プロジェクト名
1	日建エンジニアリング(株)	再エネ分野に向けた、高精度曲げ加工技術の成型限界解析・技術実証事業
2	(株)ヤサキ	微生物資材「菌の黒汁」を活用した低環境負荷、高効率牧畜システムの実証
3	丸和バイオケミカル(株)	新系統バミューダグラスを利用した畦道及び緑地管理技術の確立とビジネスモデルの構築
4	(株)ジェー・フィルズ	油脂排水回収・一時貯水槽における酵素処理の実用効果の実証
5	エネフォレスト(株)	農業用水路における水量確認システムの開発

【K-R I Pプロジェクト協議会（審査会）】

4月中旬から約1か月間、プロジェクト公募を行い、エントリーされた会員企業を対象にK-R I Pプロジェクト協議会で選考審査を実施しました。

- (1) メンバー： ビジネス創出部会及びK-R I P事務局
- (2) 開催日時：平成28年6月9日（木）13：00～17：30
- (3) 会 場：（一財）九州産業技術センター 3階会議室
- (4) 採択企業：平成28年度は上記の5社で決定しました。



各社のプレゼンテーション



K-RIP プロジェクト審査会

V. 九州・沖縄ファインバブル活用研究会

日本が世界をリードする革新的技術である「ファインバブル」を、九州・沖縄地域で活用し、産学振興を図ることを目的に、「第一回九州・沖縄ファインバブル活用研究会」を開催し、ファインバブルに関する情報共有を行いました。

平成 28 年度第一回九州・沖縄ファインバブル活用研究会

～ファインバブル技術を活用した地方創生～

1. 日時： 平成 28 年 9 月 1 日（木）13：30～16：00
2. 場所： 福岡合同庁舎本館 1 階九経交流プラザ（福岡市博多区博多駅東 2-11-1）
3. 議題：

時間		内容
13:30	13:35	冒頭挨拶、研究会の趣旨説明 九州経済産業局資源エネルギー環境課
13:35	13:55	ファインバブル技術の基本と活用事例（20 分） 環境テクノス(株) コンサルタント事業部 課長 松田 晋太郎 氏
13:55	14:10	（一社）ファインバブル産業会 FBIA 概要および活動紹介（15 分） （一社）ファインバブル産業会（FBIA）副会長 山田 洋一 氏
14:10	14:30	高知県におけるファインバブルプロジェクト紹介（20 分） 高知県 商工労働部 新産業推進課 課長 森 学 氏
14:30	14:45	「ファインバブル活用事例～農業・水質浄化等での活用～」（15 分） （株）ワイビーエム F B 事業開発部 課長 宇川 岳史 氏
14:45	15:00	「ファインバブル活用事例～水産分野での活用」（15 分） （株）ナノクス 経営企画室長 中村 大 氏
15:10	16:00	フリーディスカッション（50 分） 各自治体等から、各地域での活用可能性について意見交換

VI. ASEAN 等環境産業交流事業

環境ビジネスにおける ASEAN 地域への関心が高まる中、K-RIP は昨年度、環境産業交流事業として、マレーシア・ベトナムへのミッション団派遣及びインドネシアへの現地調査団の派遣、ベトナムミッション団の九州訪問受入れ等を通じ、環境エネルギー分野の海外展開支援を実施しました。

今年度は、従来より会員企業からのニーズが高いマレーシア・ベトナムでの事業展開支援や現地調査・官民協議を継続して実施していくほか、新たに台湾においても、現地ニーズ調査等を実施し、海外企業とのビジネスマッチングを視野に入れた、具体的な案件組成のための支援を行っていきます。

(1) 第1回 ASEAN環境プロジェクト戦略研究会

【開催日時】 平成28年 6月23日 (木) 10:00~12:00

【開催場所】 (一財)九州産業技術センター 1F 会議室

議題：マレーシア・廃棄物リサイクルプロジェクト

(2) 第2回 ASEAN環境プロジェクト戦略研究会

【開催日時】 平成 28年 7月 5日 (火) 15:00~17:00

【開催場所】 経済産業省 九州経済産業局 会議室

議題：マレーシア水処理プロジェクト

(3) 第1回 ASEAN環境プロジェクト形成研究会

【開催日時】 平成 28年 8月 8日 (月) 15:00~17:30

【開催場所】 (一財)九州産業技術センター 1F 会議室

議題：マレーシア紙おむつリサイクルプロジェクト

(4) 台湾（台北市、高雄市）における環境技術ニーズの現地調査、官民協議

K-RIP は昨年度までの ASEAN 地域における現地調査に加え、台湾においても九州企業の海外へのビジネス展開や環境プロジェクト参画の機会創出を目的にニーズ調査等を実施しました。

1. 件名：台湾現地ニーズ調査（地域中核企業創出・支援ーアジア環境プロジェクト形成・展開）
2. 訪問先：台北市、高雄市
3. 日程：平成28年7月26日（火）～29日（金）
4. 参加者 ○九州経済産業局 資源エネルギー環境課：竹内参事官、真木係長
○九州環境エネルギー産業推進機構（K-RIP）嶋田統括マネジャー
○参加企業：協和機電工業(株)、(株)環境緑化保全コンサルタント
(株)エコファクトリー、環境テクノス(株)（合計7名）

日程	用務（訪問先）	都市名
7/26 (火)	※移動（CX511：福岡→台湾（桃園）） ◇交流協会台北事務所 經濟部	台北市
7/27 (水)	◇行政院工業局 永續發展組 ◇行政局能源局 企画組 国際合作科 ◇工業技術研究院 緑能・環境研究所産業発展推進組	台北市
7/28 (木)	◇台日産業連携推進オフィス：TJPO ※移動（台北→高雄） ◇台湾貿易センター高雄事務所	台北市 高雄市
7/29 (金)	※移動（高雄→桃園） ※移動（CX510：台湾（桃園）→福岡）	高雄市

交流協会台北事務所



5. 台湾出張の目的及び結果：

1) 台湾における環境エネルギー政策全体についての情報収集

政権交代により、エネルギー政策の転換期であり、2025年までの原子力停止、グリーンエネルギー導入拡大が主政策として掲げられ、工場のグリーン化、省エネの取組などが強化される方針。台湾における環境ビジネス市場は今後更に拡大し、日本の技術・ノウハウの参入余地は十分にある。

2) 環境エネルギー分野における台湾企業と九州企業との連携方策について

日本と台湾の両地域の企業の不足するリソースを補完し、東南アジアの市場獲得を目指すことも希望。（台日連携の促進） → 単に台湾市場獲得を目指す取組ではなく、台湾企業とのアライアンス形成を目指したミッション（商談の実施）の組立が必要。

例）ASEAN水処理プロジェクトのサプライヤーとしての台湾企業との連携

3) 地域中核企業のビジネスマッチング（先行的に実施）

- ① 水処理関連企業 →台湾の水処理の課題解決について個別相談あり（継続協議）。
- ② リサイクル関連企業→台湾緑色生産力基金が関心。九州訪問時の視察依頼あり。
- ③ 省エネ関連企業 →訪問先から有力なパートナー企業候補の紹介あり（継続協議）
- ④ 環境コンサル関連企業 →台湾の環境課題を把握。台湾同業企業との連携を検討。

（5）イスカンダル・マレーシア商工会議所とのMOU締結

九州環境エネルギー産業推進機構（K-RIP）とジョホール州イスカンダル・マレーシア商工会議所は、相互理解と友好関係を深めながら、九州地域とジョホール州の発展に向け、環境・エネルギー分野の相互交流の促進に協力して取り組むための覚書を締結しました。

1. 日時：平成 28 年 8 月 4 日（木）16 時～20 時
2. 場所：ホテルニューオータニ博多、ジャスミンルーム（MOU）、ローズルーム（交流会）
3. 内容：九州環境エネルギー産業推進機構（K-RIP）とジョホール州イスカンダル・マレーシア商工会議所との環境エネルギー分野の相互交流推進に関する覚書（MOU）締結

4. MOU 締結式の出席者：

マレーシア：ジョホール州一訪日団 計 14 名

YB TUAN HAJI SALIKON BIN SARPIN（イスカンダル商工会議所・サリコン会頭）

YB DATUK IR. HASNI BIN MOHAMMAD（マレーシア・ジョホール州・ハスニ大臣）

日本側： K-RIP： 吉田会長、坂井副会長、村上事務局長 他 3 名

九州経済産業局：阿由葉部長、竹内参事官 他 4 名



阿由葉部長・吉田会長・サリコン会頭・ハスニ大臣



吉田会長・阿由葉部長・ハスニ大臣・サリコン会頭

（6）ベトナム環境調査チームの派遣

1. 件名：ベトナム環境プロジェクト組成のための現地協議
2. 訪問先：ベトナム国 ハノイ市、ホーチミン市
3. 日程：平成 28 年 9 月 11 日（日）～ 17 日（土）
4. 出張目的：

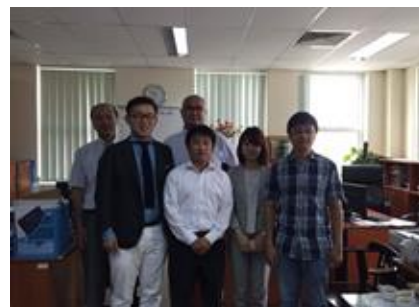
○環境プロジェクト組成のための現地関係機関

とのネットワーク構築

○中核企業に対する環境プロジェクト組成とフォロー



ベトナム資源環境省との協議



5. ベトナム訪問日程 9/11～13（ハノイ市） 9/14～17（ホーチミン市）

日程	用務	都市名
9月11日(日)	※移動(福岡→ハノイ) ※香港経由 10:30 福岡発→18:40 ハノイ着	ハノイ市
9月12日(月)	◇ベトナム現地コーディネーターとの打ち合わせ ◇JICAハノイ訪問(☆) ◇JETROハノイ訪問(☆)	ハノイ市
9月13日(火)	◇環境資源省 水・土汚染管理部との協議 ◇ベトナム商工会議所(VCCI)との協議 ◇外国投資庁との協議(☆)	ハノイ市
9月14日(水)	※移動(ハノイ→ホーチミン) 11:40 ハノイ →13:50 ホーチミン着 ◆農業チーム ○ An Phu Da Lat Co., Ltd ◆水処理チーム ○ Sai Gon High Tech Park Development Company Limited	ホーチミン市
9月15日(木)	○ JETROホーチミン(☆) ◇Saigon Water Corp. ◇ベトナム商工会議所 ホーチミン	ホーチミン市
9月16日(金)	◆農業チーム ○ 農業ハイテクパーク Good Life(日系)、アンビエン社 ◆水処理・ものづくりチーム ○ フーミー3工業団地 (@バリアブントウ省)	ホーチミン市 他

9月17日(土) ※移動(6:25 ホーチミン発→15:40 福岡着) ※香港経由



〔ベトナム外国投資庁との協議〕



〔ベトナム商工会議所との協議〕

＊ H28 年度上期 SONEQ 事業報告

1. 九州ソーラー&クリーンエネルギーネットワーク（SONEQ）研究会 テーマ審査会

SONEQ では、市場拡大に向けた新しいビジネスモデルの提案・実証や太陽光発電関連製品/システムの開発を目指す「ものづくり技術・ビジネスモデル研究会」を毎年開催しています。

これは、太陽光発電関連産業において活躍を目指し、SONEQ で取り上げるべき研究課題を持ち主体的に活動を実施する幹事企業（本事業採択者）と、研究テーマを募集するものです。

平成 28 年 6 月 21 日、八重洲博多ビルにて開催した「平成 28 年度 SONEQ 研究会テーマ審査会」において、今年度は下記の 2 テーマが採択され、研究会を実施して参ります。

① アグリトピア研究会

幹事会社：グリーンリバーホールディングス 株式会社

概要：再生可能エネルギーを利用した農業高度化

② 太陽光発電パネル（PV）リサイクル・回収ビジネスモデル構築研究会

幹事会社：株式会社 新菱

概要：太陽光パネルのリサイクル・回収システムの構築

2. SONEQ 研究会（開催実績）

平成 28 年 9 月 16 日（金）、「太陽光発電パネル（PV）リサイクル・回収ビジネスモデル構築研究会」第 1 回研究会を開催しました。第 1 回には SONEQ 会員 11 名、オブザーバー 4 名、幹事会社、事務局が参加し、PV モジュールの廃棄・処理状況等について意見交換を実施しました。次回以降、具体的なシステム構築に向けて議論を重ねて参ります。



【第 1 回研究会（太陽光発電パネル（PV）リサイクル・回収ビジネスモデル構築研究会）】

3. 会員向け下期開催予定の講演会について：

詳細については、決定次第に SONEQ のホームページでお知らせいたします。

- ① 平成 28 年度第 1 回 会員向け講演会（11 月中旬実施予定、福岡市）
- ② 平成 28 年度第 2 回 会員向け講演会（2 月実施予定、福岡市）

～トピックス～ 平成28年度 環境・グローバル人材育成事業について

K-RIP では、本年度海外展開に関心のある環境・エネルギー関連企業の若手経営者・社員を対象に、海外展開に必要な基礎知識等について学べる「環境・グローバル人材育成講座」を開設します。 海外取引を目指す企業間のサロンの場としても活用してもらい、将来的なニュービジネスや企業間連携にも繋げられるよう企画されています。

(1) 参加対象者

第一部： 海外ビジネス基礎講座

海外展開に関心のある環境・エネルギー関連企業の若手経営者・社員50名程度。

第二部： 環境ビジネス英語塾

ビジネス英会話に興味のある環境・エネルギー関連企業の若手経営者・社員20名程度。

(2) 開催スケジュール：

第1回目： 平成28年10月7日（金）

開催場所：カンファレンスA S C（福岡市博多区博多駅東1-16-25 合同庁舎の近く）

★第一部： 海外ビジネス基礎講座 16:30～17:30

「海外展開のための基礎知識とJETRO 海外展開支援サービス・新輸出大国
コンソーシアムのご紹介」

講 師：JETRO 福岡貿易情報センター

新輸出大国コンシェルジュ・アドバイザー（貿易投資）鍋山 陽一氏

★第二部： 環境ビジネス英語塾 18:00～20:00

「海外出張時の挨拶等で必要な英会話を学ぶ」

講 師：HAKATA 外国語スクール出張講師（外国人講師、日本語可）

第2回目： 平成28年11月9日（水）

開催場所：福岡合同庁舎本館1階 九経交流プラザ（福岡市博多区博多駅東2-11-1）

★第一部：「環境・エネルギービジネスの国際展開 現状と可能性」15:30～17:30

廃棄物・リサイクルビジネス、水、省エネ、再生可能エネルギービジネス等の海外展開の
現状と可能性を、政策的な支援措置も含め紹介。

講師： N T Tデータ経営研究所 社会・環境戦略コンサルティングユニット

本部長・パートナー 村岡 元司 氏

★第二部： 環境ビジネス英語塾 18:00～20:00

「英語で海外とメールのやりとりを行う」

講師：HAKATA 外国語スクール出張講師（外国人講師、日本語可）

＊上記を含め、年4回程度の開催を予定しております。

環境・グローバル人材育成塾の申し込みは、K-RIP ウェブページからインターネットか
F A Xで直接申し込み可能です。詳しくは、K-RIP 事務局までお問合せをお願いします。
皆さん、奮ってご参加のこと宜しくお願い申し上げます。

お知らせ 平成 28 年度事業計画（下期）

平成 28 年度下期は、以下の事業（イベント）を開催します。

日時	事業名	場所	連携団体
平成 28 年 10 月 12 日 ～14 日	エコテクノ 2016 支援 ～地球環境ソリューション展～ ～エネルギー先端技術展～	北九州市	
平成 28 年 10 月 13 日	環境ビジネスアライアンスマッチング セミナー in 九州（エコテクノ内で開催）		環境ビジネス・アライアンスマッ チング運営協議会
平成 28 年 10 月 13 日 ～14 日	ファインバブルセミナー&ファインバブ ル地方創成協議会（佐賀県） （於：唐津内ロイヤルホテル）	唐津市	（一社）ファインバブ ル産業会
平成 28 年 10 月 19 日 ～21 日	びわ湖環境ビジネスメッセ 2016 出展支援・技術シーズ発信会 （個別マッチング支援）	滋賀県	
平成 28 年 11 月下旬 （予定）	【ASEANとの環境産業交流事業】 （マレーシア環境PJミッション来九）	福岡市	
平成 28 年 11 月 25 日	第 101 回エコ塾（福岡市内）	福岡市	九州経済連合会
平成 28 年 12 月 12 日 ～13 日	環境ビジネスアライアンスマッチング セミナーin 沖縄	那覇市	環境ビジネス・アライアンスマッ チング運営協議会
平成 28 年 12 月 14 日 ～16 日	アグロ・イノベーション東京 2016 展 （東京ビッグサイト）	東京都	
平成 29 年 1 月 18 日 ～19 日	エコ塾・in・長崎 & 『キャラバン』	長崎市	公財）長崎県産業振興 財団
平成 29 年 1 月下旬 （予定）	【ASEANとの環境産業交流事業】 （台湾プロジェクトー台湾訪問）	海外	九州経済産業局 K-RIP 会員企業
平成 29 年 2 月 9 日 ～10 日	エコ塾・in・佐賀 & 『キャラバン』	佐賀市	
平成 29 年 2 月 16 日 ～17 日	環境ビジネスアライアンスマッチング セミナー in 川崎、大阪（予定）	川崎市 大阪市	環境ビジネス・アライアンスマッ チング運営協議会
平成 29 年 2 月下旬 （予定）	【ASEANとの環境産業交流事業】 （ベトナム環境PJミッション）	海外	

※参加等ご希望の方は、K-RIP事務局までご連絡下さい。



九州環境エネルギー産業推進機構(K-RIP)

812-0013 福岡市博多区博多駅東 2 丁目 13-24

（一財）九州産業技術センター内 K-RIP 事務局

TEL: 092-474-0042 FAX: 092-472-6609

Web: <http://www.k-rip.gr.jp> E-mail: info@k-rip.gr.jp